

令和5年度 教科シラバス

教科	国語	科目	現代文 B
単位数	5 単位	レポート	15 回
教科書	高等学校改訂版標準現代文 B(第一学習社)	副教材	進研 WINSTEP Core 国語 2

学習目標

近代以降の様々な文章を読むことにより、文章を的確に理解する能力を育成するとともに、作品鑑賞をとおして思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。基本的な読み書き、語句の意味、文法、修辞などに習熟し、言語感覚を磨いて、自己を表現する力を育む。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
(1)随想「ワスレナグサ」 (レポート①)	(7)随想「食と想像力」 (レポート⑧)
(2)小説「山月記」 (レポート②、③)	(8)評論「鏡としての他者」 (レポート⑨)
(3)評論「ヒトはなぜヒトになったのか」 (レポート④)	(9)小説「話を聞かせて」 (レポート⑩、⑪)
(4)詩歌「永訣の朝」 (レポート⑤)	(10)評論「新しい地球観」 (レポート⑫)
(5)小説「鼻」 (レポート⑥)	(11)評論「経験の教えについて」 (レポート⑬)
(6)詩歌「折々のうた」 (レポート⑦)	(12)小説「こころ」 (レポート⑭、⑮)
前期考査範囲	後期考査範囲

学習方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
随想、小説、評論、詩歌をとりあげます。授業プリントやレポート、副教材を活用し、内容の整理とまとめの学習をおこなう。一文一文を丁寧に読み取っていく。	随想、小説、評論、詩歌をとりあげます。授業プリントやレポート、副教材を活用し、内容の整理とまとめの学習をおこなう。一文一文を丁寧に読み取っていく。

評価方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） 発問評価 レポート評価 定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） 発問評価 レポート評価 定期考査（2回）

評価の観点

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語への関心を持ち、課題に意欲的に取り組もうとしているか。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりしているか。	目的に応じてさまざまな文章を書き、自分の考えをまとめ、深めているか。	文章を的確に読み取り、正しく理解して、自分の考えを深め、発展させているか。	伝統的な言語文化、言葉の特徴やきまり、漢字などについて基礎的な知識が身についているか。

キャリアコース 4日型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2	6		4
教科書			副教材等	
日本史A 現代からの歴史（東京書籍）				
学 習 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学「歴史」での学習の復習もしながら、日本の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連づけて、現代につながる生きた歴史を学習する。 ・ 日本史の学習を通して、将来の日本を担う国民としてふさわしい歴史的教養を身につけ、主体的に生きる日本人としての自覚と資質を育てる。 				
学 習 内 容				
【前期】 ○教科書は、P 2～95までを学習。 ○学習の中心（レポート） <ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちの時代と歴史（第1回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちと歴史の結びつき ・ 近代日本の形成（第2回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際情勢の変化と明治維新 ・ 東アジア世界の変動と日本（第3回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 日清戦争と近代社会の確立 2. 日露戦争と帝国日本の形成 		【後期】 ○教科書はP 96～200までを学習。 ○学習の中心（レポート） <ul style="list-style-type: none"> ・ 二つの世界大戦と日本（第4回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 第一次世界大戦と帝国日本 4. 太平洋戦争 ・ 第二次世界大戦後の国際社会と日本（第5回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代世界の開幕と日本の戦後改革 ・ 現代の世界と日本（第6回） <ol style="list-style-type: none"> 2. 冷戦の終焉と日本 		
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業でレポートの内容について説明を聞く。分からない内容は授業時等に質問して、明らかにする。 ・ 教科書、授業時の資料を用いてレポートを作成し、期限を守って提出する。 ・ 教科書・返却されたレポート・対策プリントの内容を理解し、考査を受験する。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
レポートの提出と評価、考査の成績、授業態度を総合的に判断して評価する。				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。		
担 当 者 よ り 一 言				
先行き不透明な社会を生き抜く力を身に付けます。自分自身と結びつけながら学んでください。				

キャリアコース 1日型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2	6		2
教科書		副教材等		
日本史A 現代からの歴史（東京書籍）				
学 習 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学「歴史」での学習の復習もしながら、日本の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連づけて、現代につながる生きた歴史を学習する。 ・ 日本史の学習を通して、将来の日本を担う国民としてふさわしい歴史的教養を身につけ、主体的に生きる日本人としての自覚と資質を育てる。 				
学 習 内 容				
【前期】 ○教科書は、P 2～9 5 までを学習。 ○学習の中心（レポート） <ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちの時代と歴史（第1回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちと歴史の結びつき ・ 近代日本の形成（第2回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際情勢の変化と明治維新 ・ 東アジア世界の変動と日本（第3回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 日清戦争と近代社会の確立 2. 日露戦争と帝国日本の形成 		【後期】 ○教科書はP 9 6～2 0 0 までを学習。 ○学習の中心（レポート） <ul style="list-style-type: none"> ・ 二つの世界大戦と日本（第4回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 第一次世界大戦と帝国日本 4. 太平洋戦争 ・ 第二次世界大戦後の国際社会と日本（第5回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代世界の開幕と日本の戦後改革 ・ 現代の世界と日本（第6回） <ol style="list-style-type: none"> 2. 冷戦の終焉と日本 		
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業でレポートの内容について説明を聞く。 ・ 教科書、授業時の資料を用いてレポートを作成し、期限を守って提出する。 ・ 教科書・返却されたレポート・対策プリントの内容を理解し、考査を受験する。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
レポートの提出と評価、考査の成績を総合的に判断して評価する。				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。		
担 当 者 よ り 一 言				
先行き不透明な社会を生き抜く力を身に付けます。自分自身と結びつけながら学んでください。				

キャリアコース 4日型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	4	1 2		4
教科書		副教材等		
高等学校地理A(第一学習社)		基本地図帳(二宮書店)		
学 習 目 標				
世界各国の形成の歴史的過程の土台となる生活・文化の地理的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。				
学 習 内 容				
【前期】 ○教科書は、P 4～1 2 1 までを学習。 ○学習の中心(レポート) 地球儀や地図でとらえる現代世界(第1回) 世界の人々の生活を取りまく地理的環境(第2・3回) 世界の諸地域の生活・文化と環境(第4～6回)		【後期】 ○教科書はP 1 2 2～1 9 9 までを学習。 ○学習の中心(レポート) 世界の諸地域の生活・文化と環境(第7・8回) 私たちが直面する地球的課題(第9～1 1 回) 日常生活と結びついた地図(第1 1 回) 自然環境と防災(第1 2 回) 生活圏の地理的な諸課題と地域調査(第1 2 回)		
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業でレポートの内容について説明を聞く。分からない内容は授業時等に質問して、明らかにする。 ・教科書、授業時の資料を用いてレポートを作成し、期限を守って提出する。 ・教科書・返却されたレポート・対策プリントの内容を理解し、考査を受験する。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
レポートの提出と評価、考査の成績、授業態度を総合的に判断して評価する。				
知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度	
現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。		現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	
担 当 者 よ り 一 言				
先行き不透明な社会を生き抜く力を身に付けます。自分自身と結びつけながら学んでください。				

キャリアコース 1日型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2	6		2
教科書		副教材等		
最新現代社会 新訂版 (実教出版)				
学 習 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学「公民」での学習の復習もしながら、現代社会を政治・経済・や文化・倫理 など多方面から 探究し、現代社会の全体像を客観的に把握する。 ・ 現代社会のあるべき姿とそこに生きる人間のあり方を考えられる態度を育て、複雑多様で変化も 大きい現代社会において、他に流される ことなく、主体的に生き、民主的・平和的な国家社会の 有為な形成者の1人となりうる力を育てる。 				
学 習 内 容				
【前期】 ○教科書は、P 6～109までを学習。 ○学習の中心は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会の課題 (第1回) <ol style="list-style-type: none"> 3. 生命科学と情報技術の課題 ・ 青年期と自己形成 (第2回) <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分らしく生きる ・ 現代の民主政治と日本国憲法 (第3・4回) <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代国家と民主政治 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 日本の政治機構と政治参加 		【後期】 ○教科書はP 110～201までを学習。 ○学習の中心は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の経済社会と国民生活 (第4・5回) <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の経済 2. 日本経済の特質と国民生活 ・ 国際社会と人類の課題 (第6回) <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際政治の動向 2. 国際経済の動向と国際協力 		
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業でレポートの内容について説明を聞く。 ・ 教科書、授業時の資料を用いてレポートを作成し、期限を守って提出する。 ・ 教科書・返却されたレポート・対策プリントの内容を理解し、考査を受験する。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
レポートの提出と評価、考査の成績を総合的に判断して評価する。				
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度		
現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。		
担 当 者 よ り 一 言				
先行き不透明な社会を生き抜く力を身に付けます。自分自身と結びつけながら学んでください。				

キャリアコース 4日型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2	6		4
教科書			副教材等	
最新現代社会 新訂版(実教出版)				
学習目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・中学「公民」での学習の復習もしながら、現代社会を政治・経済・文化・倫理 など多方面から 探究し、現代社会の全体像を客観的に把握する。 ・現代社会のあるべき姿とそこに生きる人間のあり方を考えられる態度を育て、複雑多様で変化も 大きい現代社会において、他に流される ことなく、主体的に生き、民主的・平和的な国家社会の 有為な形成者の1人となりうる力を育てる。 				
学習内容				
【前期】 ○教科書は、P 6～109までを学習。 ○学習の中心は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ・青年期と自己形成(第1回) <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分らしく生きる ・科学と人間(第2回) <ul style="list-style-type: none"> ベーコンとデカルト、ベンサムとミル ・現代社会の課題(第3回) <ol style="list-style-type: none"> 3. 生命科学と情報技術の課題 ・現代の民主政治と日本国憲法(第4回) <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代国家と民主政治 2. 日本国憲法の基本的性格 		【後期】 ○教科書はP 110～201までを学習。 ○学習の中心は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済社会と国民生活(第5回) <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の経済 2 日本経済の特質と国民生活 ・国際社会と人類の課題(第6回) <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際政治の動向 2. 国際経済の動向と国際協力 		
学習方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業でレポートの内容について説明を聞く。 ・教科書、授業時の資料を用いてレポートを作成し、期限を守って提出する。 ・教科書・返却されたレポート・対策プリントの内容を理解し、考査を受験する。 				
評価基準と評価方法				
レポートの提出と評価、考査の成績、授業態度を総合的に判断して評価する。				
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度		
現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。 現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。		
担当者より一言				
先行き不透明な社会を生き抜く力を身に付けます。自分自身と結びつけながら学んでください。				

キャリアコース 1日型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2	6		2
教科書		副教材等		
最新現代社会 新訂版（実教出版）				
学 習 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学「公民」での学習の復習もしながら、現代社会を政治・経済・や文化・倫理 など多方面から 探究し、現代社会の全体像を客観的に把握する。 ・ 現代社会のあるべき姿とそこに生きる人間のあり方を考えられる態度を育て、複雑多様で変化も 大きい現代社会において、他に流される ことなく、主体的に生き、民主的・平和的な国家社会の 有為な形成者の1人となりうる力を育てる。 				
学 習 内 容				
【前期】 ○教科書は、P 6～109までを学習。 ○学習の中心は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会の課題（第1回） <ol style="list-style-type: none"> 3. 生命科学と情報技術の課題 ・ 青年期と自己形成（第2回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分らしく生きる ・ 現代の民主政治と日本国憲法（第3・4回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代国家と民主政治 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 日本の政治機構と政治参加 		【後期】 ○教科書はP 110～201までを学習。 ○学習の中心は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の経済社会と国民生活（第4・5回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の経済 2. 日本経済の特質と国民生活 ・ 国際社会と人類の課題（第6回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際政治の動向 2. 国際経済の動向と国際協力 		
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業でレポートの内容について説明を聞く。 ・ 教科書、授業時の資料を用いてレポートを作成し、期限を守って提出する。 ・ 教科書・返却されたレポート・対策プリントの内容を理解し、考査を受験する。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
レポートの提出と評価、考査の成績を総合的に判断して評価する。				
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に 取り組む態度		
現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。 現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。		
担 当 者 よ り 一 言				
先行き不透明な社会を生き抜く力を身に付けます。自分自身と結びつけながら学んでください。				

令和5年度 教科シラバス

教科	理科	科目	化学基礎
単位数	3単位	レポート	9回
教科書	高等学校 改訂 新化学基礎 (第一学習社)	副教材	改訂ネオパルノート化学基礎 (第一学習社)

学習目標

<p>日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育むとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学の学習内容が日常生活や社会とかかわることを知り、身近な物質とその変化への関心を高める。 ・化学の学習は環境に配慮した上で、健康で安全な生活を送るために欠かせないものであることを理解する。 ・主体的に観察、実験などに取り組むことによって科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を身に付ける。 ・化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し、活用する能力を身に付ける。 ・物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を徹視的にとらえる見方や考え方を養う。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
第Ⅰ章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素 第2節 化学結合 （レポート①②③）（前期中間考査） 第Ⅱ章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式（前半） （レポート④）（前期期末考査）（前期考査）	第1節 物質と化学反応式（後半） （レポート⑤⑥）（後期中間考査） 第2節 酸・塩基とその反応 第3節 酸化還元反応 （レポート⑦⑧⑨）（後期期末考査）（後期考査）

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
	副教材の学習のまとめを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材の学習のまとめを利用し、学習を進める。 1時間あたり、レポートの範囲を進める。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・発問評価 ・レポート評価 ・定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・レポート評価 ・定期考査（2回）

評価の観点

a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 観察・実験の技能	d. 知識・理解
自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

令和5年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	体育（3年次）
単位数	デ：2単位 キヤ：3単位	レポート	3回
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材	ステップアップ高校スポーツ等

学習目標

<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<p>（第1回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストについて ・体育と私 ・体づくり運動 <p>（第2回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動の行い方 ・バドミントン ・ダンス ・体づくり運動 	<p>（第3回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞等の記事をレポートにまとめる。 ・体づくり運動

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技は、それぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技は、それぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技は、それぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・実技テスト ・レポート評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・実技テスト ・レポート評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・実技テスト ・レポート評価

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
<p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解するとともに、目的に応じた技能を身に付けている。</p>	<p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。</p>

令和4年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	英語表現 I
単位数	3単位	レポート	9回
教科書	SELECT English Expression1 三省堂	副教材	SELECT English Expression1 Workbook 三省堂 チャンクで英単語 Basic 三省堂

学習目標

- ・ 基礎的な文法事項を復習し、情報や考えなどを伝える能力の向上を図る。
- ・ 場面を想定し、簡単な会話や説明ができるようになる。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 Lesson1～Lesson4 あいさつ（現在形）・世界の食文化（過去形）スポーツ（進行形）・旅行（未来表現） レポート①②（前期中間考査）（前期考査） ・ 教科書 Lesson5～Lesson8 芸能（現在完了形）・日本文化（現在完了形）・環境（助動詞①）・国際社会（助動詞②） （レポート③④）（前期期末考査）（前期考査） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 Lesson9～Lesson12 生き物（不定詞①）・生き方（不定詞②）・自然科学（動名詞）・芸術（受動態） レポート⑤⑥（後期中間考査） ・ 教科書 Lesson13～16 外国語ことば（分詞）・ご当地（関係代名詞）・活躍する高校生（関係代名詞）・地理（比較） （レポート⑦⑧⑨） （後期期末考査）（後期考査）

学習方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<p>文法説明を聞き、ノート・ワークにまとめる。 ワークを使い文法理解を深める。 副教材(チャンクで英単語)を使って、単語練習・小テストをする。 レポート 各課のまとめとしてレポートを作成</p>	<p>・ 文法説明を聞き、ノート・ワークにまとめる。 ・ 本文内容理解を教師の支援のもと、進めていく 1時間あたり、レポートの範囲を進める。</p>

評価方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度・ワーク・ノート提出 ・ レポート評価 ・ 定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度（出席率等も含む） ・ レポート評価 ・ 定期考査（2回）

評価の観点

コミュニケーションの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
コミュニケーションに感心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする	身近なことを話題にしたり書いたりして、考えを適切に伝えることができる。	外国語で聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語で聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している

令和5年度 教科シラバス			
教科	外国語	科目	英語会話
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	「Sailing English conversation」 啓林館	副教材	「Sailing English conversation ワークブック」 啓林館 チャンクで英単語 Basic 三省堂
学習目標			
<ul style="list-style-type: none"> 英語での情報や考えを理解する、自分の考えを発表するなど、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、身近な話題について会話する能力を養う。 異なる文化を理解し尊重する態度を育てる。 			
学習内容			
前期（4～9月）		後期（10～2月）	
教科書 Lesson1～Lesson 2 自己紹介・他人紹介・予定の聞き方・過去の出来事の質問（レポート①②）（前期中間考査） 教科書 Lesson 3～4 ・飛行機内での会話・電話での応答（レポート③）（前期期末考査）（前期考査）		教科書 Lesson 5～7 道案内・買い物の仕方・相手をほめる・（レポート④⑤）（後期中間考査） Lesson 8～10（レポート⑥） 体調の聞き方・職業・家事について（後期期末考査）（後期考査）	
学習方法			
デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型	
教科書の表現を使って、実際の場面を想定し会話表現してみる。好きなものや町紹介等、長い文を書き、発表する。	会話練習、副教材で練習 リスニング練習 チャンクで英単語を用いて簡単な文を書く練習をする。	会話を聞き、副教材を用いて練習する。 1時間あたり、レポートの範囲を進める。	
評価方法			
デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型	
・授業態度 ・自己表現 ・レポート評価 ・定期考査（4回）	・授業態度 ・自己表現 ・レポート評価 ・定期考査（4回）	・授業態度（出席率等も含む） ・レポート評価 ・定期考査（2回）	
評価の観点			
コミュニケーションの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常生活の身近な問題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり発表したりして表現する。	日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識、その背景にある文化なども理解している。

令和5年度 教科シラバス

教科	家庭科	科目	家庭基礎
履修区分	必履修	単位数	2単位
レポート	7回	試験回数	2回
教科書	ともに生きる・持続可能な未来をつくる (第一学習社)	副教材	おかねドリル (教育図書)

学習目標

<ul style="list-style-type: none"> 生活に関する知識や技術、考え方を身につけ実践して、これからの長い人生を自分らしい充実したものにする。 生活の主体者になったときの生活の仕方を考え実践できるようにする。

学習内容

前期 (4～9月)	後期 (10～2月)
(1) 経済生活を営む (レポート①) (2) これからの生き方と家族 (レポート②) (3) 次世代をはぐくむ (レポート③) (4) 充実した生涯・ともに生きる (レポート④) (前期考査)	(5) 食べる (レポート⑤) (6) 装う (レポート⑥) (7) 住まう (レポート⑦) (後期考査)

学習方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
教科書を中心に学習プリント、副教材を活用しながら学習を進め、レポートの内容に触れながら試験対策を行う。 授業内容に沿った演習を行う。	教科書、副教材を活用しながら、レポート範囲を進める。

評価方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 (出席率等も含む) 発問評価 レポート評価 定期考査 (4回) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 (出席率等も含む) レポート評価 定期考査 (2回)

評価の観点

a.知識・技能	b.思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
生活の仕方について学び、生活に関する知識や技術を身につけ、生活に生かしていくことを学ぶ。	生活の主体者として思考し、判断し、導き出した自らの考えを的確に表現する	これから自分がどのような生活を営んでいこうとするか、生活の主体者になったときの生活の仕方を考え、関心を高める態度を身につける。

令和5年度 教科シラバス

教科	学校設定科目	科目	ベーシック（3年生）
単位数	1単位	レポート	6回
教科書		副教材	基礎力養成ドリル （実務教育出版）

学習目標

- ・「考える力」を主軸に、勉強をする意義をよく理解する。
- ・学力の底上げになるトレーニングを行い、勉強へ向かう意欲を向上させる。
- ・国語、数学、英語をなぜ学習するのか。どのように勉強したら理解がしやすくなるのかを学ぶ。
- ・自分自身の脳の働きを知る事で、長所短所を見出す。
- ・物事を多角的かつ幅広く観ることが出来る様になる為、柔軟性を持たせた学習をする。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年から中学校までの総復習に加え、スタディスキル（考える力）を身につけるトレーニングを行う。 ・基礎力養成ドリルは自宅学習とし、<u>レポート課題</u>として提出をすること（全6回）。 ・授業時にドリルの解説を行う。 <p>《基礎力養成ドリル／レポート課題範囲》</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 国語：授業時に範囲を提示 ② 数学：授業時に範囲を提示 ③ 英語：授業時に範囲を提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディスキルの向上を目指した学習を行う。 ・基礎力養成ドリルは自宅学習とし、<u>レポート課題</u>として提出をすること。 ・授業時にドリルの解説を行う。 ・11月、12月に「基礎学力テスト」を実施する。 <p>《基礎力養成ドリル／レポート課題範囲》</p> <ol style="list-style-type: none"> ④ 国語：授業時に範囲を提示 ⑤ 数学：授業時に範囲を提示 ⑥ 英語：授業時に範囲を提示

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
	<p>小学校中頃から中学校までの総復習。ドリルはレポートとして提出するが、「調べ学習」として行い、インターネットや友人との情報共有をするなどして終わらせること。授業ごとにレポート範囲の解説を行う。年末にはドリル内容から出題される「基礎学力テスト」を実施する。</p>	<p>小学校中頃から中学校までの総復習。ドリルはレポートとして提出するが、「調べ学習」として行い、インターネットや友人との情報共有をするなどして終わらせること。授業ごとにレポート範囲の解説を行う。年末にはドリル内容から出題される「基礎学力テスト」を実施する。</p>

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・追課題の提出（プリント） ・レポート評価（6回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・追課題の提出（プリント） ・レポート評価（6回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
スタディスキルと自分の得意分野を理解し、具体的な知識を深めることができたか。	学習分野が教科を超えて繋がっており、自身にとって必要なものであると理解できたか。	課題（配布プリントやレポート）に対して、どれだけ真摯に取り組んだか。

令和5年度 教科シラバス

教科	総合的な探究の時間	科目	
単位数	1単位	レポート	2回
教科書		副教材	高校生のキャリアノート

学習目標

- ・自ら学ぶ意欲や探究心、思考力や判断力などの育成を図り、生徒が主体的に学びながら問題の解決や探求活動を意欲的、創造的に行う態度を養う。
- ・個人の意志で公の場に身を投じ、集団の中に入っても平常心を保てる精神力を育成する。
- ・集団の中で個人の役割を見出し、その役割を全うすることで成就感を持たせる。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
就職・進学について学習する。	面接の練習や働くことについて学習する。

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
	テーマを決め、インターネットや書籍などで調べ、レポートを作成する。	テーマを決め、インターネットや書籍などで調べ、レポートを作成する。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
	・授業態度（出席率等も含む） ・レポート評価	・授業態度（出席率等も含む） ・レポート評価

評価の観点

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
学習することに対して主体的な姿勢であるか、又創造的な態度で取り組んでいる。	学び方、ものの考え方について自主的に考える。	自ら課題を設定し、主体的に解決することが出来るように努力する。	どのように生きるか、自己の生き方について様々な体験を通して得た知識を生かし考える。